

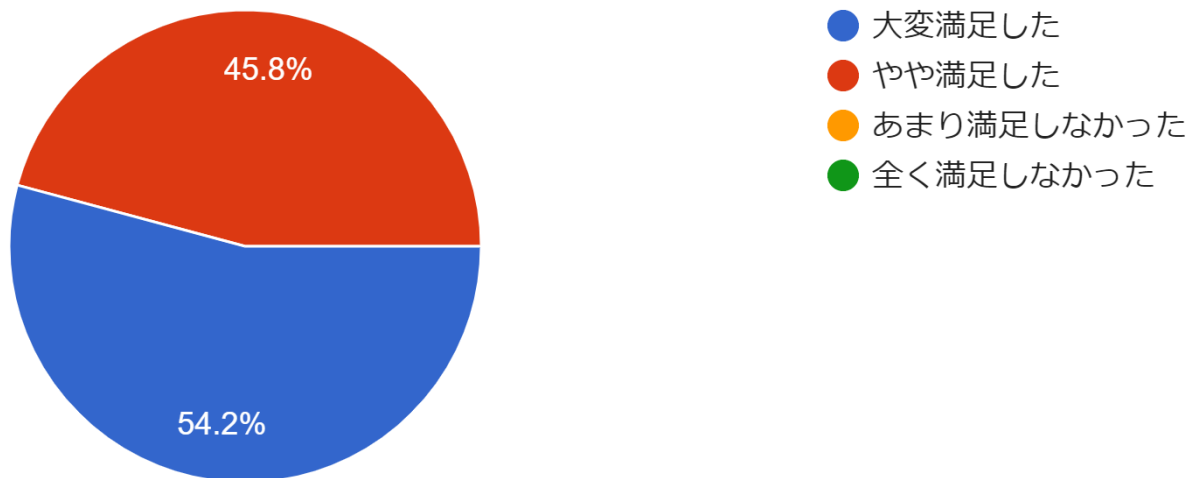
231125_九州沖縄 適ケア・基本ケアセミナー② アンケート回答

セミナーの内容は満足できましたか。

24 件の回答

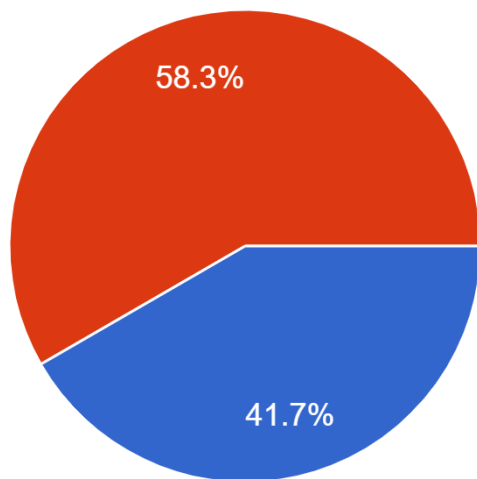
参加者：32名

回答率：75%



セミナーの内容は理解できましたか。

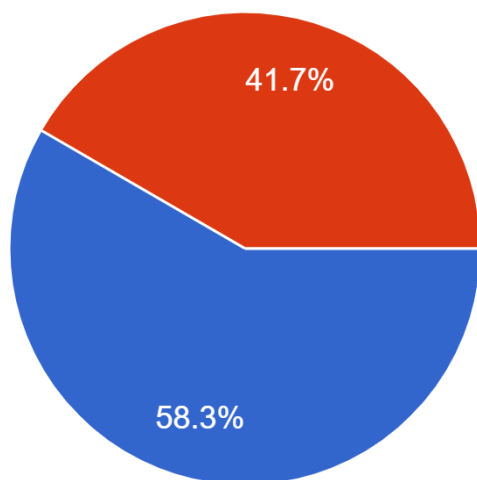
24件の回答



- 十分に理解できた
- やや理解できた
- あまり理解できなかった
- 全く理解できなかった

セミナーの内容はケアマネジメント業務に活かせそうですか。

24件の回答



- とても活かせそう
- やや活かせそう
- あまり活かせなさそう
- 全く活かせなさそう



セミナーの開催内容や開催方法に関して、印象に残ったところ、感想を記入ください。（自由記述）

17件の回答

講義や演習がテンポよく展開されていた点

やはり演習時間がある事で講義の内容を整理して、言語化する事が出来ると実感しました。

適切なケアマネージメント手法について、学ぶ機会をいただき、ワークを通じて自分の実践事例の振り返りが出来ました。

また、取り組み事例の報告は、とても興味深く、拝聴させていただきました。

オンラインだからこそ他県の方々も参加しやすく交流できて良かったと思います。

5時間で『適ケア』をまとめるのは難しいと感じました。シリーズ化した形での研修開催も有効なのかなぁと感じました。

地域の事例検討会の参加した際にも活用し、有効性を広めたいと思ったし、第一自分自身でも活用したいと思えました。

とても分かりやすく、且つ内容が濃くて凄く学ばせて頂きました！
演習があった事で、仰る通り『幅・深さ』を理解することが出来ました。

これまで、「適切なケアマネジメントの手法」を目にする機会は何度もありましたが、恥ずかしながら「ケアの冊子」の存在を知りませんでした。

資料の準備でA4では難しいものと、進行が早く、どの資料のPageを指しているかわからずついていけない時があった

具体的にワーク、が44項目から考えるのは良かった

適切なケアマネジメントの点検方法やその点検はあくまでも専門職の視点であって、今後の方向性を決めるのはご利用者という点。

適ケアは、一日で消化するには難しい内容とは思いましたが、大分県のファシリの方々の進行で自分なりに理解できたと思います。抜け漏れがないかの確認作業が出来そうです。

非常に中身の濃いプログラムと内容でした。併せてプレゼンも質の高さを伺えました。これまでケアマネ研修では疾患別のマネジメントが色濃く出ており、ソーシャルワークを実施する上で違和感を感じておりました。また自立支援型地域ケア会議のあり方にも同様な印象をもっておりました。しかし、最後の講義内容からもそれを払拭することを話しておられ共感を覚えました。有難うございました。

準備資料が多く用意を一部怠ってしまった

時枝さんのアツい想いが伝わりました。
大分県はすごいなと思いました。負けないように頑張りたいと思います。

研修のあり方について、確認できよかったです。

実際の適ケア研修を抜粋しての研修で、1日での研修でここまで盛りだくさんで感謝してます。多少、演習の時間が少なく感じたのですが、そう感じるくらい集中できた気がする。



セミナーを通じて、あなたの実践に役立つそうだと思うことは何ですか。（自由記述）

22 件の回答

振り返りに活用できること

難しいと捉えずにまずチャレンジしてみます！

適切なケアマネジメント手法を活用することで、ケアマネジメントの精度があがり、利用者様の意欲があがる、ということは、取り組むしかないなあ！と感じました。

特に、支援で引っ掛かりのある人、何かしらスッキリしないケースについて、自己点検して不足がないか見直すことができると思います。

アセスメントの見直し。

アセスメントの視点。

演習を通して、私自身が適ケアの必要性をかなり痛感出来たので、直ぐにでも沖縄県でも研修を企画して行きたいと感じております。

大分県協会の皆様方、お忙しい中本当にありがとう御座いました。

適ケアを用いることでケアマネジメントのやり易さ、見えていなかった視点を補う事にとても有効だと理解できました。生活の中で利用者や家族が改善できたことを実感し幸福感達成感を共感できることが、ケアマネジャーとしてのやりがいによりつながるのではないかと思います。

情報量が多くて、大変だと研修前には思っていました。資料を読んで、ケアマネジメントの百科事典を手に入れたような、とても貴重な研修に参加が出来ると思っていました。研修に参加して、自身の知識や経験等の煩雑な情報等を整理したり振り返るものとして活用できると思ひ、今日の経験を大切にしたいと思ひます。

これまで、「適ケア」を見ても何だか使えないなあと感じていたのも当然でした。今回のセミナーで「ケアの冊子」を紐解く機会をいただいた事が大変印象に残り、私自身の日常の実践にも大いに活用でき、OJTにも活用したいと思ひました。

適ケアを活用して定期的に事例の振り返りを行なって支援を良い方向へ修正したい。

ファシリテーターの大木さんの仕事ぶりが素晴らしく参考になった

基本ケアから、というのが良く伝わった

以前、京都府のケアプラン点検ガイドラインを活用したチェックを行ったのですが、項目が多すぎて・・・という意見が多かったのですが、適切なケアマネジメントの点検ももっと多くの項目があります。しかも、しっかり細分化されて省察という意味では役立つと考えます。

後は、介護支援専門員に法定研修だけで普及できるような感じはしないので、法定外研修でもこの使い方を研修する必要があるのではないかと思います。

自己の振り返りと他者との共有によりケアマネとしての成長を期待したいと思います。

基本ケアの活用は個々のケアマネ業務としても、研修内容にしてもとても役立つと思う。

すぐ実践は出来るのですが、一ケースに適ケアツールを使う時間があるかどうかと言われたら自信がありません。時間は見つけるものなので、どうにかやってみます。

プレゼンテーション。

県下での「適ケア研修」の方向性を考える上で役立つと考えています。

自己事例の自己点検をすることで頭が整理されて、なぜか次の一手が見えてきたような気がした。これを繰り返すことで見落としていた部分を認識できていくような気がした。そして思ったより時間を取らずにできることも実感できた。

アセスメント

演習内容、時間等参考にさせていただきます。
ありがとうございました

私自身で理解していた適ケアよりも、もっと分かりやすく理解することが出来ました。



セミナーの内容に関して、改善点、要望があれば教えてください。（自由記述）

12件の回答

ありません。

研修を実施するのにとても大変だったと思います。貴重な機会ありがとうございました。

特にありません。大変有意義な研修でした。
事務局の皆様方も、ありがとう御座いました。

とても緻密に組み立ててセミナー開催していただいたと思います。ありがとうございます。ひとつだけ、お願いするとすれば、沢山ある資料の中から、今使うべき資料を探し出す事が大変でした。事前に送られて来ていたものを、順番に印刷して、番号を書いた付箋を貼っていましたが、白黒印刷でしたので、講師の先生が画面で示してくださるものと、目視で突合するのに苦労しました。「資料1」や「別添2」などのように示して頂くとありがたかったかなあと思いました。

資料があまりにも多いため、講義中あちこちに飛ぶ場合は、聞き漏らしもあるので2回資料名とページを伝えてほしい

内容が多く、展開が早い気がした

短い時間に、あのボリュームを効率良く伝えていたと思います。大分県介護支援専門員協会の役員の皆様や、協力をしていただきデータを作成した方々に感謝しています。ありがとうございました。

自己点検シートの記入時間が限られていたので改善してほしい。

大分県協会の方々のスキルの高さに感心しました。またいろいろと研修機会がありましたら案内をよろしく願いいたします。今回は貴重な学習機会を与えていただきありがとうございました。

特にありません。ありがとうございました。

特になし。

適ケアを伝えていく人に向けた講義もありがたかったし、さらに初めて適ケアを学ぶ人にもいい講義だと思った。

事前の資料の量が膨大すぎてたので、本当に必要な必須の印刷物と任意(データ確認)といった感じで示していただくありがたかったです。

(今回は、講師を担う方たちなので ある程度書面で持ってくださいという意味もあったのかもですが)



その他、ご自由に記入ください。

13 件の回答

貴重な時間をありがとうございました。

適ケアについての学びな機会があれば、また参加したいと思いました。

わかりやすい資料、講義の時間配分
沢山の学びをいただきました。ありがとうございました。

大変ボリュームのある内容で、自分自身理解が足りなかったもので、やや満足・やや理解などの評価にしています。コロナ取組報告でもあったように、反復していくことが重要と思いました。法廷のみならず、ステップアップ研修のような開催方法も良いのかなと思いました。ありがとうございました。

大分県協会さんの取り組みの速さ・団結力に感服いたしました。私はまだ理解しきれいていません。地道に取り組んでいきたいと思えます。

有意義な研修をありがとうございました。

介護支援専門員が処遇加算を入れてもらえなかったり、資格を取ってきたにもかかわらず、不遇職のような現状はたまりません。平均年齢が高く、知の継承が行われなまま衰退、そして絶滅していくのでは、そのように仕向けられているのではないかと思う事があります。更新研修は大事だと思われま。より良い介護支援専門員を育てていく、継続していく事はとても重要だと思いますが、更新研修が、自動車免許の免停更新研修の様な状態なのは人材の枯渇化につながっていると思います。免停更新のようではなく、昇進研修のようなものになれば、より研修を受けたり単位を取得すれば、資格の等級が上がり処遇が変わるような資格制度の改正があればと思います。

ファシリの大木さん、資料の事ではご迷惑をお掛けし、私のせいでグダグダのスタートとなってしまう大変申し訳ありませんでした。

それでも、笑顔で軌道修正しまとめ上げる力に感激してました。

いつか直接お会い出来たらと思います。

本当にお世話になり、ありがとう御座いました。

限られた時間の中で、あれだけのボリュームの研修を実施していただきありがとうございました。大変勉強になりました。

今後も新しい知研があれば教えてほしいです。又このような合同研修会はとても良かったと思います。今後も九州合同の研修実施してほしいです。

回答が遅くなりまして申し訳ありませんでした

ありがとうございました。すごく有意義な時間でした。

今回は、無理言って受講させてもらいました。「適ケアの手法」の活用については時枝さんが言われていたように 様々な考えがあるかと思います。ただ、現状として職能団体としてはやっていかざる得ないので受講生に悪い印象でもなくて必要性を十分に伝えていかなければならないと痛感しました。 国は、業務省力とかケアマネの負担軽減というがケアプランデータ連携システムを見てもですが、本当の意味でのICTを活用しての業務省力にはなっていないのが現状です。その中で、課題分析標準項目の記入内容の変更といった業務量が増えることばかりで現場のケアマネの不平感が高鳴っているのが現実ですから、本当に伝え方は大事だなと感じました。

ありがとうございました。